

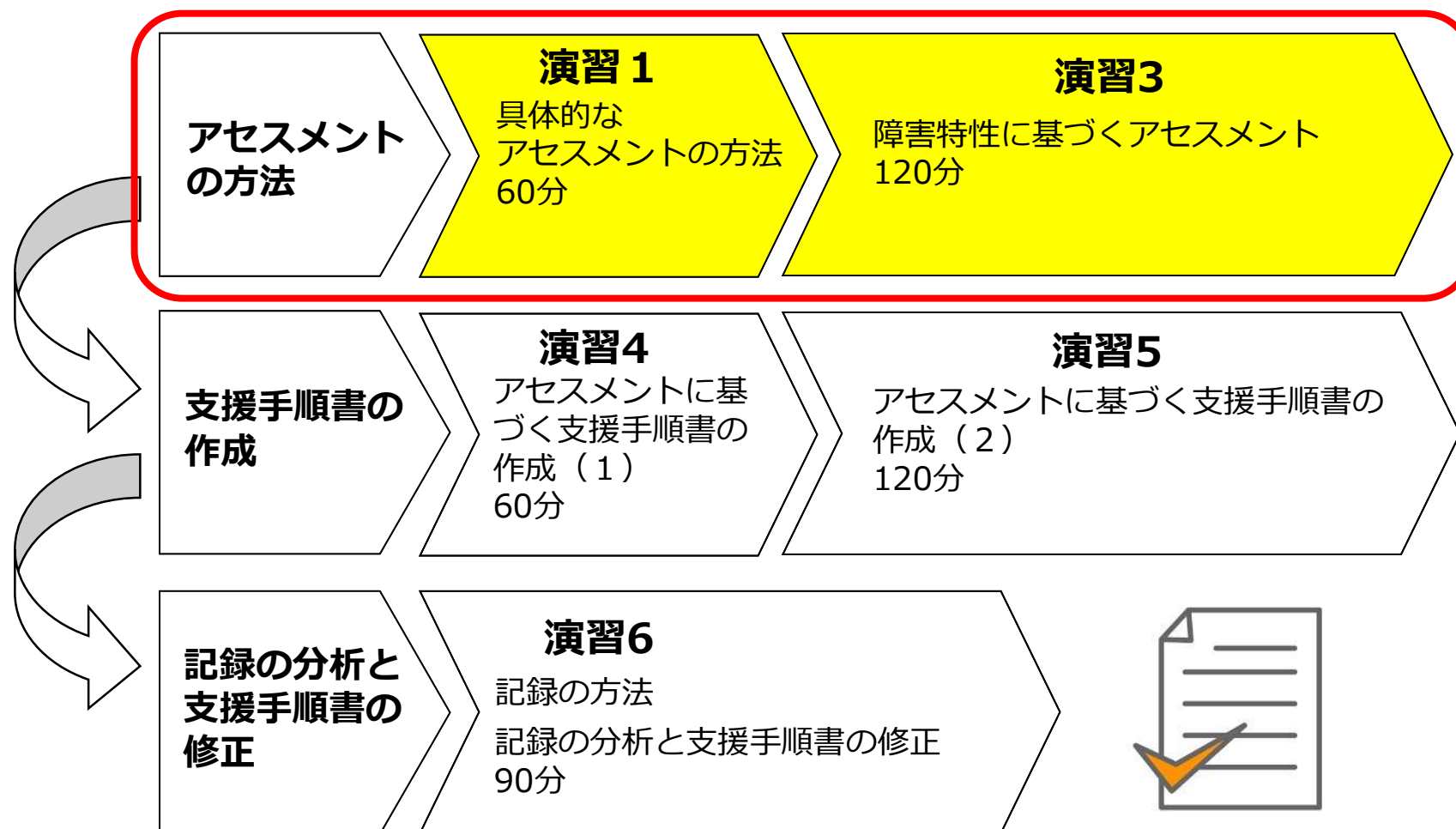
# アセスメントの方法

- ・ 具体的なアセスメントの方法
- ・ 障害特性に基づくアセスメント

# この時間で学ぶこと

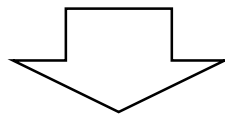
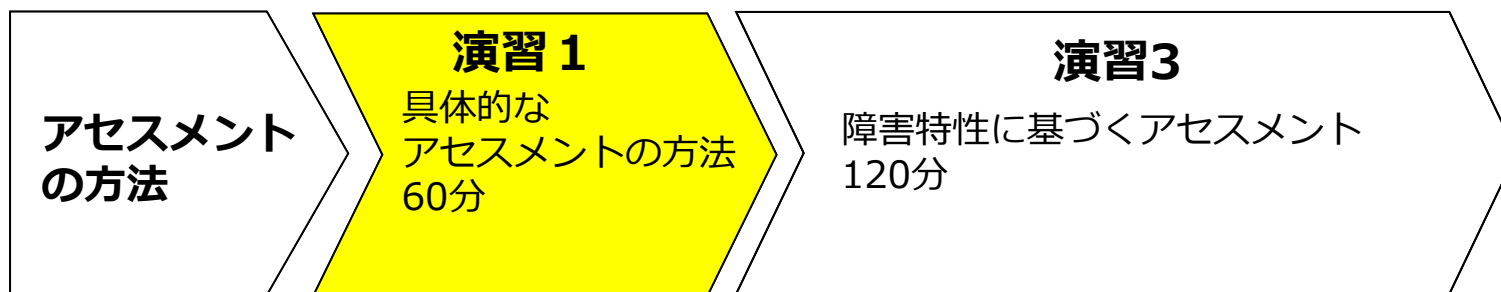
- これまで行動障害が現れやすい人たちへの支援においては、  
「障害特性に合わせた支援が必要であること」  
「支援者が統一した支援をすること」  
が大切であることを確認してきました。
- この時間では、支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書を作成するための根拠となるアセスメントの方法について学びます。

# 演習の流れ



# アセスメントの方法

- ・ 具体的なアセスメントの方法



- i) アセスメントについて
- ii) 事例の紹介
- iii) 本人の行動を確認する

i) アセスメントについて

# アセスメント

- ・ アセスメントとは？  
「評価」や「実態把握」
- ・ 基本的なアセスメント情報  
「医学的な診断」「障害支援区分」「療育手帳」など

実際の支援には、  
支援の内容に直結  
する詳しい情報が  
必要

「フォーマルなアセスメント」  
・ 知能検査、発達検査など標準化  
された検査

「インフォーマルなアセスメント」  
・ 日常の観察やインタビューによっ  
て得られる情報

それぞれの事業所にある  
基本情報を記載したシート  
フェイスシート  
プロフィールシート  
聞き取りシート

基本情報シート										記入日： ○○年○○月○○日／記入者○○○									
フリガナ タナカマサノリ								性別		? 男 □ 女									
名前 田中正則																			
住所 〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○-○ グループホーム○○○○○○○○						生年月日		○○○○年○○月○○日（３２歳）											
電話		自宅電話 ○○○-○○○-○○○○（グループホーム）						携帯		なし									
		自宅Fax ○○○-○○○-○○○○（グループホーム）						その他											
緊急連絡先		① ○○○-○○○-○○○○（続柄 後見人 ）				②		（続柄 ）											
家族構成		氏名		続柄	職業	同居／別居	氏名		続柄	職業	同居／別居								
生活歴 （学歴・職歴）		年	月	内容（所属・出来事など）				年	月	内容（所属・出来事など）									
		○○	○○	○○特別支援学校高等部卒業															
		○○	○○	生活介護事業所○○（現在も利用中）															
		○○	○○	グループホーム○○○○○○○○入居															
障害の程度		診断名		□なし ? あり（ 重度知的障害 自閉スペクトラム症 ）															
		手帳		□なし ? あり		<input type="checkbox"/> 療育手帳                  ? A    B <input checked="" type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳      □１級   □２級   □３級 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳                         種           級													
		その他																	
医療		主に関わる 医療機関		病院・医院名		診療科名	担当医師		病名		利用頻度								
				○○○○医院		○○	○○Dr												
		服薬 （名称・量）		朝	○○○○				眼药										
				昼					眼鏡										
				夕	○○○○				その他										
		発作		有無	? なし   □あり（頻度：   週・月・年に   回程度）														
原因・きっかけ																			
対応																			
サービスの利用		障害福祉サービス受給者証		受給者証番号				支給市町村		○○市									
		障害程度区分		□非該当   □区分１   □区分２   □区分３   □区分４   □区分５   ? 区分６															
		介護保険		? なし   □要支援（ １・２ ）   □要介護（ １・２・３・４・５ ）															
利用中のサービス		グループホーム○○○○○○○○ 生活介護事業所○○（週５日）ヘルパーステーション○○○（行動援護 週１回）																	
収入		就労収入		□なし   ? あり   月額 約 ８,０００ 円															
		年金		□なし   ? あり   ? 障害基礎年金 １級   □障害厚生年金   級															
		手当		? なし   □あり   □特別障害者手当   □障害児福祉手当   □特別児童扶養手当 □児童扶養手当   □児童手当   □その他（   ）															
		その他		? なし   □あり   □生活保護   □その他（   ）															



# 行動チェックシート

本人の行動を観察して具体的な行動を書き込むシート

本人の障害特性に基づく行動に着目することができたり、課題となる行動を絞り込むことができる

行動チェックシート

差込資料②

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）		
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

# 特性確認シート

本人の行動について、その背景となる特性を確認するためのシート

必ずしも「課題となっている行動」だけでなく、本人の行動から隠れている特性を整理することができる

特性に対応する支援のアイデアも確認することができる

特性確認シート

差込資料③

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起きていることへの関心が薄い	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		8) 一度にたくさんのかたを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたいのか分からない	
		12) 誰に伝えていいか分からない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える（時間の視点）
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする（時間の視点・場所の視点）
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする（方法の視点）
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	
			J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする（方法の視点）
			K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点）
			L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）

# 環境確認シート

本人の特性と合っていない  
環境を確認するためのシート

支援する人や、さまざまな刺激・情報など見落としがちな  
環境の項目を振り返ることができる

環境確認シート

差込資料⑤

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていきますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

# 強み(ストレングス)確認シート

本人の得意なこと、できること  
などを確認するためのシート

具体的な支援を組み立てるとき  
にヒントとなる

強み（ストレングス）確認シート

差込資料⑥

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
<b>わかること・できること</b> 例）なくなったら 終わり、ペットボトルのふたを 開ける ハサミを使うのが上手 など	
<b>好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど）</b> <b>やりたがること</b> 例）ハンモックで 揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる	
<b>得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば 得意かもしれないこと</b> 例）目的がわかれば 待つことができる 変更は苦手だがいつもと 同じ ことはできる	
<b>その他</b>	

## ii ) 事例の紹介

名前：田中正則（たなかまさのり）さん(仮名)

年齢：32歳 性別：男性

診断名：自閉スペクトラム症 重度知的障害 IQ:30

利用しているサービス：共同生活援助・生活介護・  
行動援護

## IQについて振り返りましょう

軽度	IQ 50-69
成人期においてその精神年齢は概ね9歳から12歳相当	
中度	IQ35-49
成人期においてその精神年齢は概ね6歳から9歳相当	
重度	IQ20-34
成人期においてその精神年齢は概ね3歳から6歳相当	
最重度	IQ 20未満
成人期においてその精神年齢は概ね3歳未満	

※軽度、中度、重度、最重度の区分はICD-10による。

田中さんは、グループホームに住む重度知的障害を伴う、自閉スペクトラム症の男性です。

平日はグループホームから生活介護事業所に通い、休日は、ときどき行動援護でヘルパーさんと外出しています。

田中さんの普段の行動には、様々な自閉スペクトラム症の特性が現れています。

※「田中さんの基本情報」参照



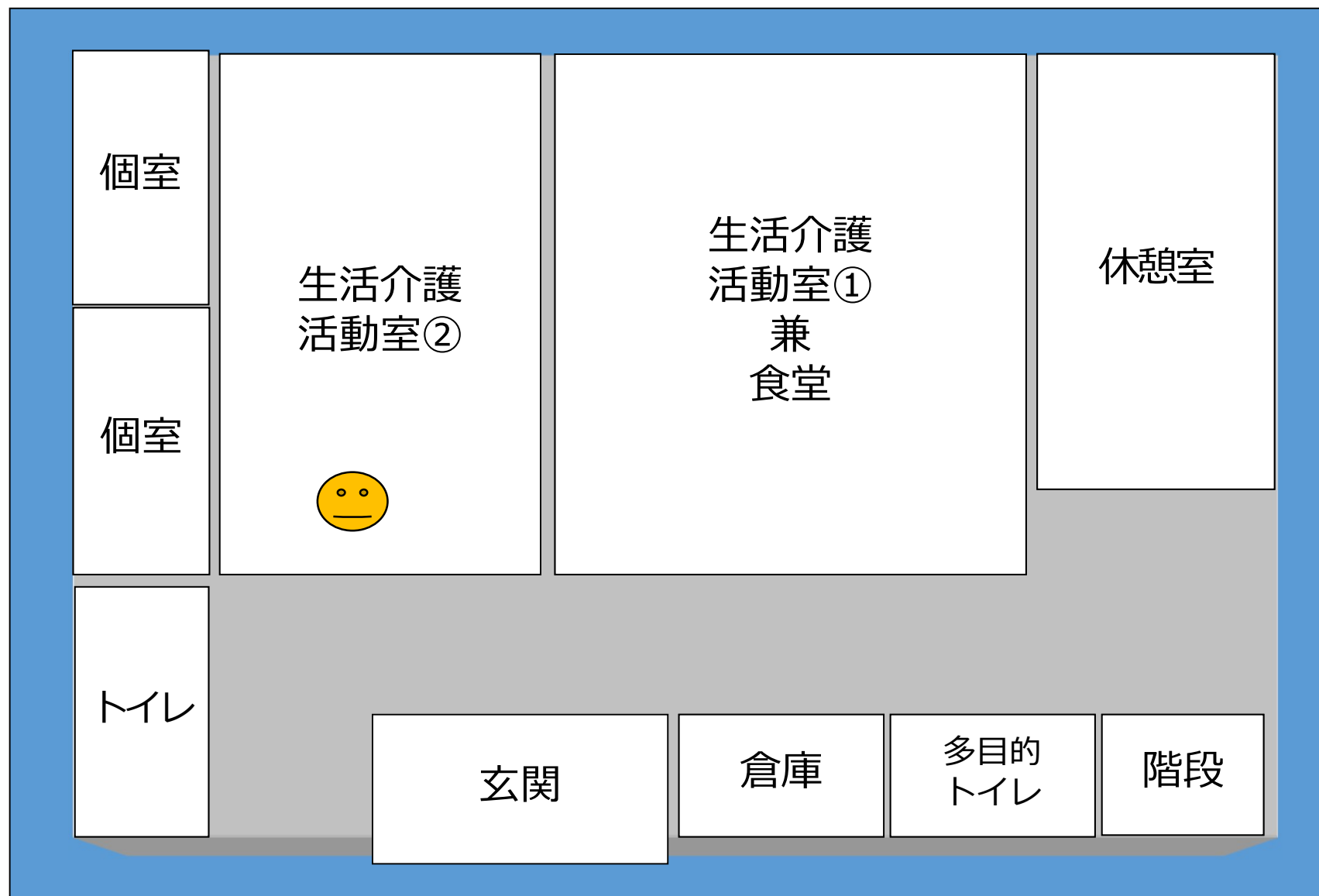
# 田中さんの活動場面

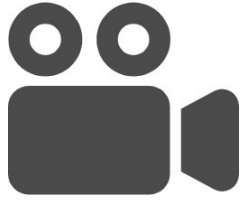
ある平日の午前中の生活介護事業所での様子です。  
作業をやることになっていますが、田中さんは午後からのお出かけのことが気になっています。

担当している職員は、田中さんに作業をしてもらうために、懸命に声をかけて作業をするように促しています。

しかし、田中さんはお出かけのことが気になり、作業どころではないようです・・・。

## 生活介護事業所の中の配置図





# 動画の視聴

iii) 本人の行動を確認する

# 行動を見る視点の大切さ

- 行動障害のある人たちは、自分の気持ちをうまく訴えられない特性があります。
- うまく訴えられない人たちのことを理解するためには、行動が手がかりになります。
- 行動をきちんと観察することで、本人の訴えたいことだけでなく、障害の特性を理解することにもつながります。
- まずは、生活介護事業所での田中さんの具体的な行動を確認していきましょう。

# 行動に注目する

「行動チェックシート」を使って、田中さんの行動を確認します。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）		
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えようと混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 美味しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、などの行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

# 個人ワーク | 行動に注目する

1. 行動チェックシートで生活介護事業所での  
田中さんの行動を確認します。

# 社会性の特徴

社会性の特徴について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

行動チェックシート

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	ア: 視線が合わない		
	イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
	ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	エ: 周囲に合わせて行動できない		
	オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
	カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	キ: 言葉で指示しても行動できない		
	ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
	ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）		
	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを伝える		
	サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
想像力	ス: やりとりがわからない		
	セ: やりとりが硬い		
	ジ: 素直に話し始めたり、黙るばかりである		
	タ: やることがないときに口を開いている、じっとしている		
	チ: 自分から動くことができない		
	テ: 予定の時間通りに行動することが多い		
想像力	ツ: 自分ルールを覚えることが難しい		
	ト: 言葉が変更されると混乱することが多い		
	ナ: 活動を通してやりとり、変更することができない		
	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
	ノ: 自分以外の物事に関心を示すことができない		
	ネ: 細かいことと関係になってやるべきことがないこと		
感覚	ハ: 目を離すと、特定の物を探る、特定の音を探る		
	ヒ: 目を見る、目を閉じる、指先で触る、手や口で触る		
	フ: 特定の音に反応する、特定の音に反応する、または		
	ベ: 特定の音に反応する、特定の音に反応する、または		
	ブ: 特定の音に反応する、特定の音に反応する、または		
	ヘ: 特定の音に反応する、特定の音に反応する、または		



# 例えば、このような行動に注目します

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	
		イ: 人との関わりが一方向的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

# チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない
		イ: 人との関わりが一方向的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

# コミュニケーションの特性

コミュニケーションの特性について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）		
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		カ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		キ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	A: 友達が出来ない イ: 人の関わりが一方的であることが多い		
	状況の理解が難しい	C: 相手の気持ちに関係なく行動する		
		E: 周囲に合わせて行動できない		
		H: 周囲の状況に応じて興味を示さない		
		I: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	J: 言葉で指示を受けても行動できない K: 言葉で指示されたことと違うことがある		
	発信が難しい	L: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーノア）		
		M: 行動や仕草などで自分の気持ちを伝えない		
		N: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		O: 言葉はあるが自分の気持ちや意図を正確に伝えることができない		
		P: やりとりがうまくいかない		
		Q: やりとりが続かない		
		R: 適切な返答がない、黙ってしまうことがある		
		S: やることがないときにクロロしている、ぼんやりしている		
	日常生活能力	自分で予定を立てることが難しい	T: 自分から動けないことが多い	
変化への対応が難しい		U: 自分の意思に逆説することが多い		
		V: 自分のルールを変えたいと思ったりすることが多い		
		W: 目標が変更されると混乱することが多い		
物の一部に対する強い興味		X: 活動中に途中でやめたり、変更することができない		
		Y: 特定の物や人・ものにこだわりや執着がある		
感情・感覚または知覚		Z: 周りの興味があるもの以外に関心をもてないことがある		
		AA: 嫌いなことが何年になっても嫌いになることができない		
		AB: 目を触る、特定の音を感じる、特定の匂いを大音量にする、などの行動がある		
		AC: 抱きかかると喜ぶ、食べたものを噛む、手や指先に咬みつき、などを繰り返す		
	AD: 特定の価格にこだわる、極端に嫌がる、または嬉しいというように行動がある			
	AE: 暑い・寒い、乾いた・湿ったなど、同じものはわかる。などの行動がある			
	AF: 特定の食べ物を好きだが、砂糖・塩辛い、臭いに入れない・嫌がるなど、行動がある			

# 例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

# チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

# 想像力の特徴

想像力の特徴について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちは関係なく行動する		
		エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
コミュニケーション	理解が難しい	カ: 言葉で指示しても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をもとに正確の返す（エコーリア）		
		コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを伝えず		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	発信が難しい	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
		ス: やりとりが合わない		
		セ: やりとりが難しい		
		ジ: 意図に沿って行動したり、意図に沿って行動しないことがある		
		ダ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
		テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 音を聴く、特定の音に敏感で、特定の音で興奮する、などの行動がある		
		ハ: 触覚、目を触る、光を触る、光を打つ、キラキラに感じる、などの行動がある		
		ヒ: 特定の音や匂いを感じる、特定の音や匂いを感じる、または感じる、などの行動がある		
		ヘ: 感じていることを行動で表す、例えば、喜ぶ、怒る、悲しい、などの行動がある		
		セ: 特定の音や匂いを感じる、特定の音や匂いを感じる、または感じる、などの行動がある		
		ジ: 特定の音や匂いを感じる、特定の音や匂いを感じる、または感じる、などの行動がある		
		ダ: 特定の音や匂いを感じる、特定の音や匂いを感じる、または感じる、などの行動がある		
		デ: 特定の音や匂いを感じる、特定の音や匂いを感じる、または感じる、などの行動がある		

# 例えば、このような行動に注目します

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

# チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		



# 感覚の特性

感覚の特性について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じもののばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社 会 性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせられない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	理解が難しい	キ: 言葉で指示しても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）		
	発信が難しい	コ: 行動や言葉などで自分の気持ちを伝えず		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
精 神 力	自分ですべてを立てることが難しい	ス: やりとりがスムーズにいかない		
		セ: やりとりが難しい		
		ジ: 言葉に誤解、勘違い、思い込みなどがある		
	変化への対応が難しい	ダ: やることがないときにのりこっている、じっとしている		
		デ: 自分から動くことができない		
		ト: 予定の放棄に抵抗することが多い		
情 感	感情が敏感または鈍感	チ: 自分のルールを破ると悲観することが多い		
		リ: 自分が変更されると悲観することが多い		
		ニ: 目標が変更されると悲観することが多い		
	物への関心	ハ: 活動が途中でやめたり、放棄することが多い		
		ヘ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ホ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		

# 例えば、このような行動に注目します

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

# チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

# 行動に注目するということ

- この後の演習では、「作業中に自傷をする」という田中さんの行動について、その背景を探っていき、必要なサポートを整理したうえで、田中さんに合った支援の手順書を作っていきます。
- しかし、支援を組み立てるためには、自傷することだけに注目するのではなく、田中さんがさまざまな苦手さをもっていることに気づくことが大切です。
- 検討すべき行動を探すためだけではなく、本人の特性に気づくためにも客観的な観察（アセスメント）が必要です。

# 記入例

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない  支援者が作業をするようにはたらきかけても動かない、水遊びに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

# 記入例

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）	✓	「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きだす
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

# 記入例

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		部屋に入るとイスに座ってじっとしている
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		お出かけにこだわり作業ができない
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

# 記入例

## 行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳をふさいでいる  キラキラした刺激が好き（基本情報より）  水道の水を長時間触っている
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		